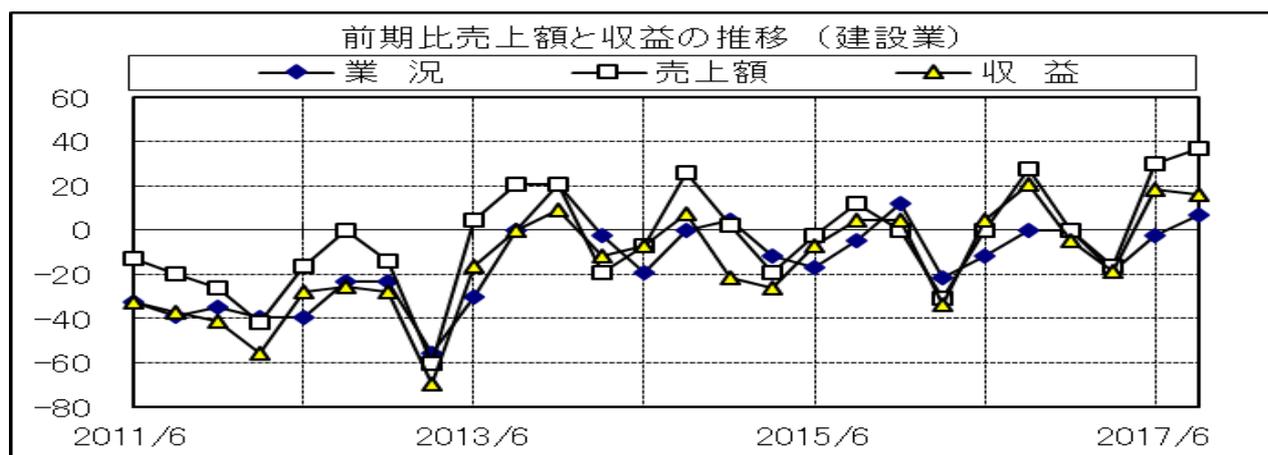


建設業 43 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	1~3 月 期実績	4~6 月 期実績	7~9 月 期実績	10~12 月 期見通し
業 況	-18.6	-2.4	7.0	4.6
売上額	-16.3	30.2	37.2	-9.3
収 益	-18.6	18.5	16.3	-7.0

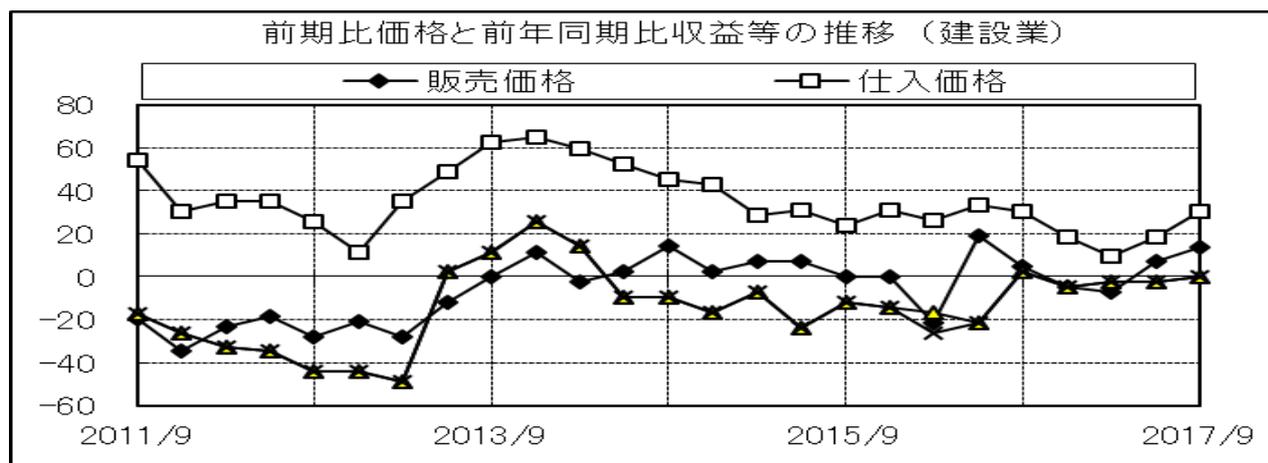
今期の業況判断 D. I. は 7.0 で、前期比 9.4 ポイント上昇、前年(0.0)比では 7.0 ポイント上昇した。地区別 D. I. の水準は高い順に、広尾が一番高く、静内、様似、浦河、三石、と続き、えりもが最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は、前期比で 7.0 ポイント上昇した。収益判断 D. I. は前期比で 2.2 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	1~3 月 期実績	4~6 月 期実績	7~9 月 期実績	10~12 月 期見通し
請負価格	-7.0	6.9	14.0	2.3
仕入価格	9.3	18.6	30.2	18.6

請負価格判断 D. I. は 14.0 で、前期比 7.1 ポイント上昇、前年(4.7)比では 9.3 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 30.2 で、前期比 11.6 ポイント上昇、前年(30.2)と同率となった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1~3 月 期実績	4~6 月 期実績	7~9 月 期実績	10~12 月 期見通し
残業時間	2.3	2.3	6.9	4.6
人手状況	-6.9	-16.3	-25.6	-25.6

残業時間判断 D. I. は 6.9 と前期比 4.6 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断 D. I. は Δ 25.6 と、前期比 9.3 ポイント下降し、人手不足感が強まった。

□ 設備投資の動き

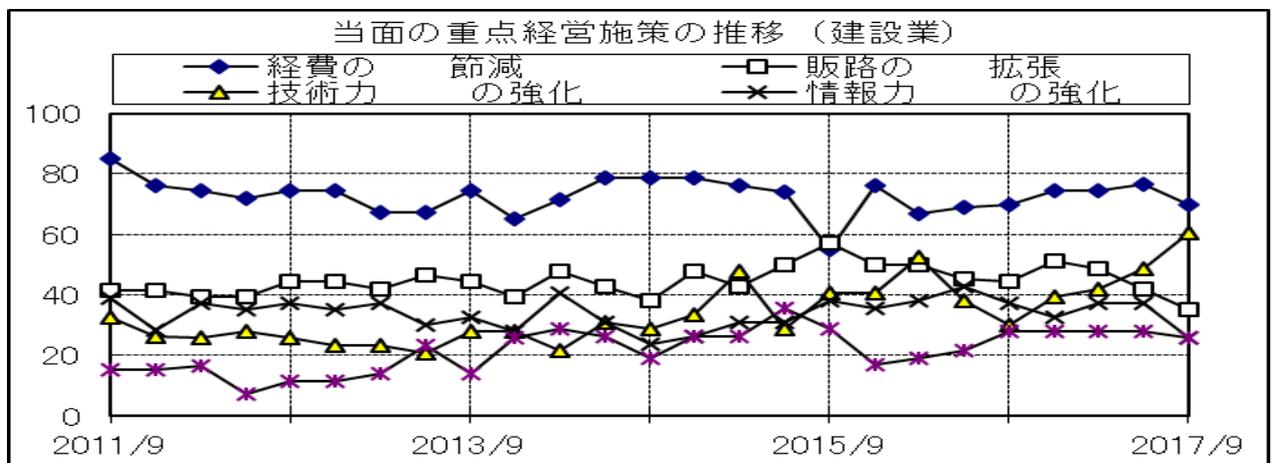
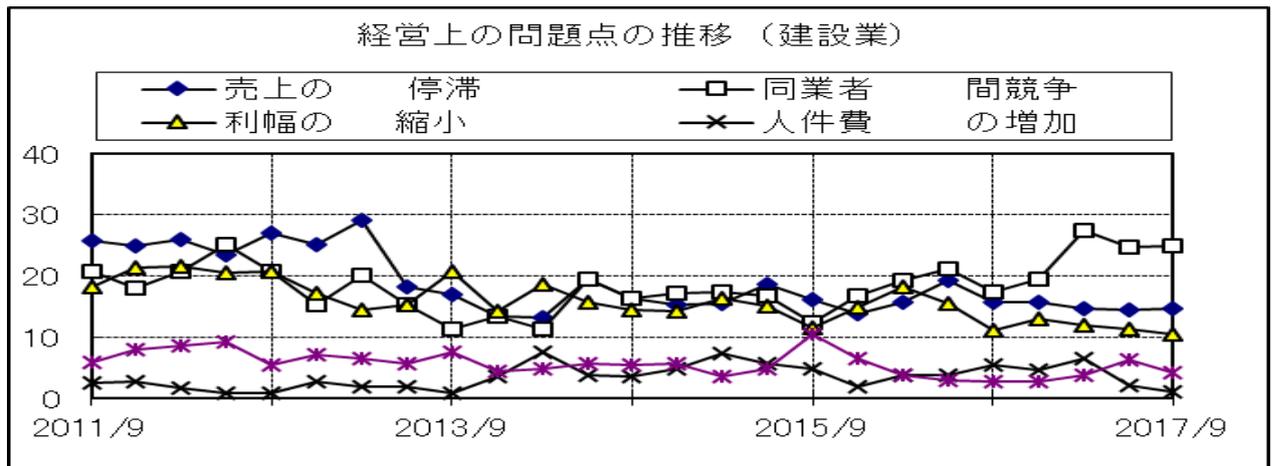
設備投資の充足感を示すD. I. は△11.6で、前期（△9.2）比で2.4ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は7.0と、前期(11.6)比で4.6ポイント下降した。設備投資は、前期4社に対し、3社の実施となった。来期の設備投資は、1社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「同業者との競合」25.0%、「売上の停滞減少」14.6%、「人手不足」・「大手企業との競合」が同率の11.5%、「利幅の縮小」10.4%、「下請けの確保難」8.3%、「材料価格の上昇」5.2%、「地場産業の衰退」4.2%、「技術力不足」3.1%と続いている。

重点経営施策では、「経費を削減する」69.8%、「技術力を高める」60.5%、「販路を広げる」34.9%、「情報力を強化する」・「人材の確保」が同率の25.6%と続いている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は4.6と、今期比2.4ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は△9.3と、今期比46.5ポイントの大幅な下降を見通している。

予想収益判断D. I. は△7.0と、今期比23.3ポイントの下降を見通している。

予想請負価格判断D. I. は2.3と、今期比11.7ポイントの下降を見通している。

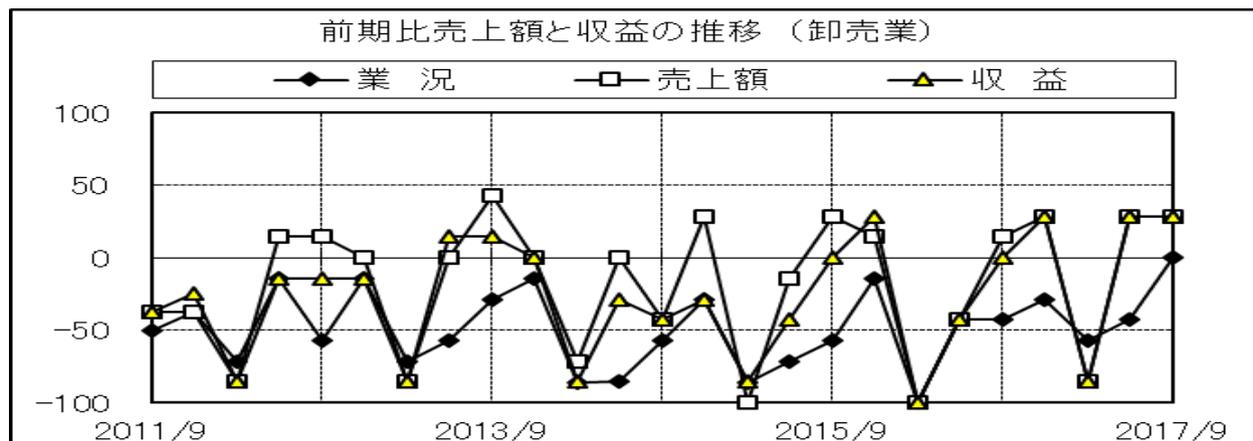
予想仕入価格判断D. I. は18.6と、今期比11.6ポイントの下降を見通している。

卸売業 7企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期見通し
業 況	-57.2	-42.9	0.0	14.3
売上額	-85.7	28.6	28.6	0.0
収 益	-85.7	28.5	28.5	0.0

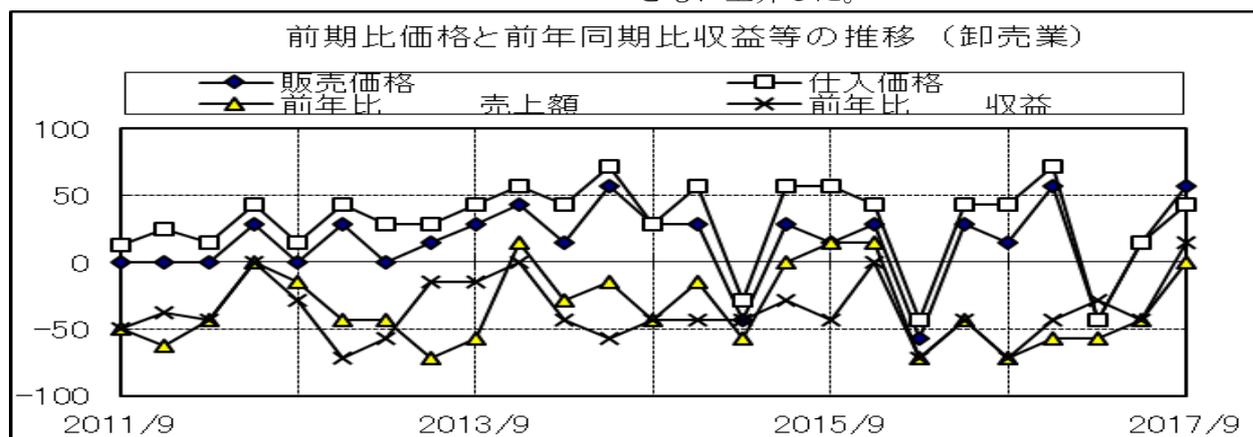
今期の業況判断 D. I. は 0.0 で、前期比 42.9 ポイント上昇、前年(△42.8)比で 42.8 ポイント上昇した。地区別の水準は、静内、様似地区が上昇、浦河地区は下降となった。売上額判断 D. I. は 28.6、収益判断 D. I. は 28.5 となり、それぞれ前期と同水準となった。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期見通し
販売価格	-42.8	14.3	57.1	42.9
仕入価格	-42.8	14.3	42.8	42.9

販売価格判断 D. I. は 57.1 で、前期比 42.8 ポイント上昇、前年(14.3)比では 42.8 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 42.8 で、前期比 28.5 ポイント上昇、前年(42.8)と同水準となった。業種別では、水産業は販売価格は横ばい、仕入価格は下降した。食品業は、販売・仕入価格ともに上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期見通し
残業時間	-28.6	0.0	14.3	14.3
人手状況	0.0	-14.3	-42.9	-42.9

残業時間判断 D. I. は 14.3 で、前期比 14.3 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増加した。人手過不足判断 D. I. は △42.9 で前期 28.6 ポイント下降し、人手不足感が一段と強まった。

□ 設備投資の動き

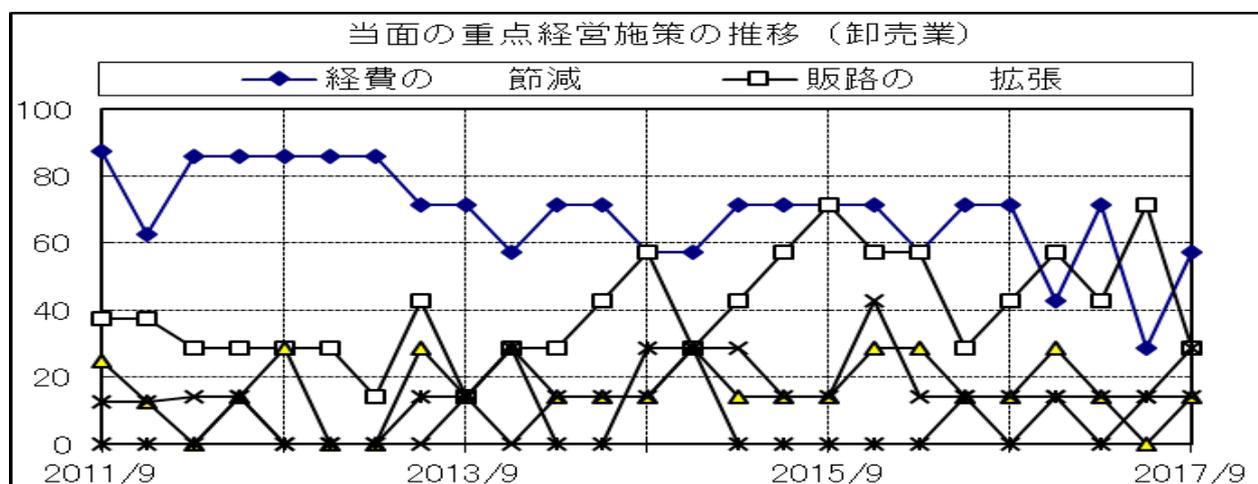
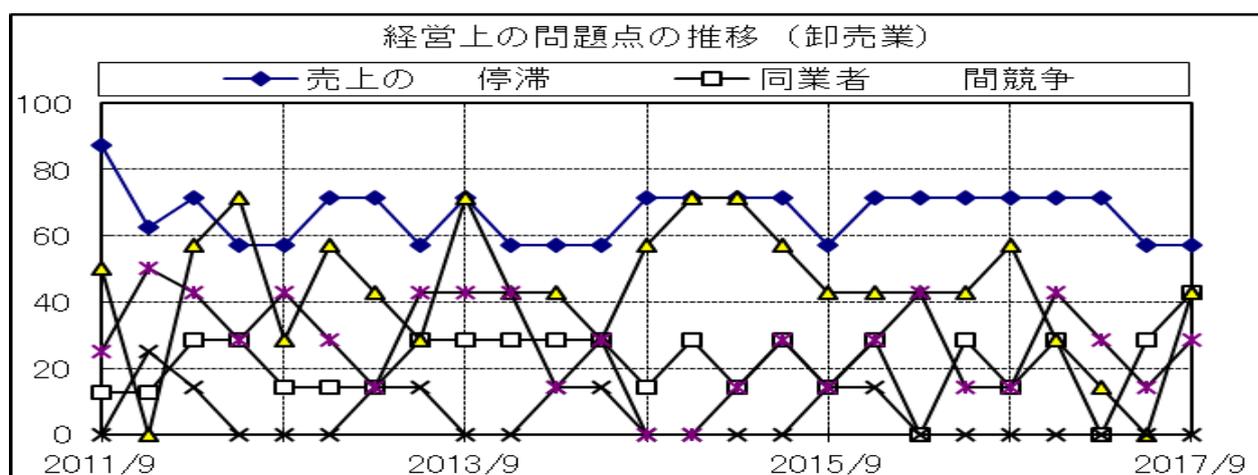
設備投資の充足感を示すD. I. は前期比横這いのゼロ水準となった。

設備実施企業割合は14.3%で前期比14.3ポイント上昇、設備投資は、前期3社に対し、1社の実績となった。来期の設備投資予定は0社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」57.1%、「同業者との競争」・「利幅の縮小」が同率の42.9%、「諸経費の増加」・「地場産業の衰退」が同率の28.6%、「取引先の減少」・「店舗の老朽化」・「天候不順」が同率の14.3%と続いた。

重点経営施策では、「経費の節減」57.1%、「販路拡大」・「人材確保」が同率の28.6%、「情報力強化」・「新事業開始」・「流通経路の見直し」・「労働条件の改善」・「不動産の有効活用」が同率の14.3%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は14.3と、今期比14.3ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は0.0と、今期比28.6ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I. は0.0と、今期比28.5ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断D. I. は42.9と、今期比14.2ポイントの下降を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は42.9と、今期比0.1ポイントの上昇を見通している。